

公民館“報”

2/8 ふれあい市長室 市長と明野地婦連の意見交換会

明野アクロスホールにおいて、明野地婦連（会長・小野鶴子）を対象に“ふれあい市長室”が開催されました。市側から佐藤市長をはじめ副市長（2名）、広報広聴課の担当者、明野地婦連からは20数名の会員が出席されました。



まず、地婦連から子ども食堂、青空図書館、研修活動など、明野諸行事への協賛について報告がありました。意見交換の中では、主に、地婦連から支所を核施設とする複合型施設の建設要望がだされ、市長は支所拡張の必要性は認識した上で、施設の在り方については、今後も話し合いを続けていきたいと説明されていました。



明野で映画を！ 団体ごとに無料上映

自治会連合会の下に設置している「人が安心・明野創生実行委員会」（委員長・由見文洋）は、新年度から、「地域コミュニティシニアター」事業を実施します。

それに先立ち、1月末、実委会は支所会議室において、漫談家・綾小路きみまろのDVDの試写会を行いました。各団体が上映する場合、機材の一斉は、実委会（明野支所保管、貸出）が準備しています。ご活用を！



“吉四六さん語り”

ケーブルTV放映！

明野校区公民館の「元気っ子クラブ」専属ボランティアの後藤恵子さん（北町）は、とんち話“創作絵説き吉四六さん”の語り部として広く活躍されています（大分団地新聞にも毎号連載中）

最近ではコロナ禍により、口演活動は中断されていますが、ケーブルTV・OCNより、無観客のTV放映を打診されました。そこで公民館が協賛し、昨年12月以降“笑う門には福来たる”の発想で放映しています。

地域行事のほとんどが中止、縮小を余儀なくされ自粛する中、伝承のとんち話で生活に笑いの場を・・・！



2月2日
護国神社・節分祭



バレンタインデー
贈る三品？



群れるスズメ
朝のエサ待ち



昨年の作品展
趣味の域を超える技

明野“ちょこっと一息”！

「ひとり燈のもとに文をひろげて、見ぬ世のひとを友とするぞ、こよなう慰むわざなる」（徒然草・兼好法師）